



《課題が見られた設問》

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率:全国(県南)
1(3)	アとイの二つの速さを求める式の意味について正しいものを選ぶ	速さを求める式と商の意味を理解している。 わり算の 意味 の理解	55.8(48.7)
2(1)	直角三角形の面積を求める式と答えを書く	三角形の面積の求め方について理解している	55.1(46.4)
4(2)	8人に4Lのジュースを等しく分けるとき一人分のジュースの量を求める式と答えを書く	商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる	55.5(51.9)
2(2)	直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる	72.5(66.7)
3(4)	帯グラフから、割合の違いが一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く。	帯グラフで示された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる。	52(46.6)
1(1)	二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く	二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる	62.5(57.5)



○「かさって何」「面積って何?」「角度ってどこのこと?」といった語句に関わる**意味理解**や、形や扱う数や場面が変わったときにもそれが使えるのかつながりはあるのかといった**適用**にかかわる**知識・技能**が十分でないようである。

《普段の授業で心がけましょう》

問いを引き出す提示を!
(「並べる」が効果的です)

既習とつなぐ単元構成の工夫をしましょう!
(例:割合と比べて同じ?違う?)

毎日の授業をやってみよう!調べてみたい!使ってみよう!するには?

問題提示部分

※ 場面絵, 問題文

課題

まとめ

要約・発見

今日使った見方・考え方

自力解決・話し合う

適用

考えたり表現したりしてみたいくなるように...
・数 ・順序 ・量 ・全部/一部
※児童の考えをどの順序で扱い、どう関係づけるか
例)式だけ提示 T:「どこに目をつけて考えたのかな?」「図でいうとどこかな?」

1人では見えなかったことが、見えるようにしましょう! (△考え方の発表会)

【要約】の発問

例)「これはどんな考えを使ったのかな」
「この方法に何て名前をつけようかな」

【発見】の発問

例)「今日は3つの方法で解決したんだね(受容)。全く別物に見えるけど、似てるなってところ見える人いるかな?」

「だったら」「もっと!」と、使った見方・考え方の定着・活用できるようにしましょう!

適用問題は、
数/量/向き/形/文脈等
を変える※何を覚えて提示するかは、学級の実態に応じて!
・算数日記(記述)にこだわり
すぎずに ←目的が大事!

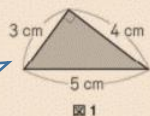
(例)インタビュー形式(音声もあり!)

▲たくさんのドリル

2

図1のような直角三角形があります。

$3 \times 4 \times 5$ と
解答多い!



(1) 図1の直角三角形の面積は何cm²ですか。
求める式と答えを書きましょう。

底辺って何?どこ?

(意味)

公式は分かるけど、向きや数値が変わっても使えるのか





《課題が見られた設問》

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率：全国(県南)
9(1)	四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になること理由を説明することができる 条件を用いて、理由の説明（記述）	44.3 (37.5)
9(3)	$\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く 条件の下で性質を見だし、それを表現・記述	ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる	28.8 (23.6)
4	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している 関数の意味の理解	48.0 (42.2)
6(2)	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する。	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。	61.8 (57.9)
8(3)	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する 傾向を捉え、判断の理由を表現	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる 目的に応じた式変形・事柄が成り立つ理由の記述	11.1 (9.4)



- 「関数って何」「○○って何？」といった、語句に関わる意味理解や、形や扱う数や場面(条件)が変わったときにもそれが使えるのかつながりはあるのかといった適用に関わる知識・技能、表現力を伸ばしたい。そのためには、小学校と同様に、意味や関係性の理解の場、条件を変えて適用を図る場、併せて使える(よさ)実感を得る場を指導計画の中に計画的に組み込む必要がある。
- 中学校では、小学校と比べて求められる「思考・判断・表現」の過程が長い。「発見した上で表現する」「理解した上で表現する」「傾向を捉えて記述する」等(上記の通り)。小学校の内容の確実な理解(小・中連携の一つ)とともに、どの子にも「発見」「表現」の機会を保障する単元・授業づくりが求められる。(→ペアやグループ学習に頼りすぎない)

《普通の授業で心がけましょう》

毎日の授業をやってみたい！調べてみたい！使ってみたい！にするには？

問題提示部分

※ 場面絵，問題文

課題「

まとめ

◎一単位時間の工夫・ポイントは、小学校の資料に準じます

今日使った見方・考え方

要約・発見

適用

自力解決・話し合う

問題番号6(2)

(3) 二人は、自然数を6つずつに区切った表でも、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和が4の倍数になるかを考えることにしました。そこで、次の図3のような表をつくり、四角で囲んだ4つの数の和について調べました。

図3

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

4つ囲み

数の並びを変えたら…？！

3つ囲みにすると？
7の倍数の表にすると？
4つの数の差について調べると？

条件をつけて(変えて)表現する場を確保しましょう！

